

シンポジウム開催の経緯

ひづめ館懇話会は、岩手県紫波町赤石地区を拠点とする地域の振興、歴史研究を目的とした民間団体である。赤石地区は南日詰、北日詰地域を包括し、まさしく 12 世紀比爪系奥州藤原氏の故地と重なる範囲である。これまで、筆者(羽柴)は懇話会の活動に関わり持たせていただき、筆者自身の比爪研究に関しても種々の恩恵をいただいていた。

昨年、懇話会の会長である高橋敬明さんから、懇話会設立の 10 周年にあたって、区切りとなる事業をおこないたいとのご相談を受けた。おりしも、紫波町内では、北上川堤防工事、終末処理場建設に伴い、これまでにない大規模な面積の遺跡発掘調査が進行中であり、12 世紀比爪に関する新たな知見が得られつつある状況にあった。そこで、比爪研究の現状、今後の研究の方向性を探るシンポジウムの開催を提案したものである。

これまで、比爪館跡、南日詰小路口遺跡 I・II などの発掘調査で垣間見えていた「比爪」の様相であるが、近年の南日詰大銀 II 遺跡の調査により、新たに、比爪館に匹敵する「居館」の存在が浮かび上がった。また、城内 I 遺跡、北条館跡の調査では、平泉の最初期(西暦 1100 年頃)の可能性があるかわらけが出土し、比爪のスタートが平泉と同時期であることも確認されつつある。今回のシンポジウムはこれらの最新資料を基に「比爪」の実像を示し、「平泉と並び立つ比爪の実像」を明らかにすることを目的とする。

紫波町文化財調査委員 羽柴 直人

ひづめ館懇話会設立 10 周年事業

シンポジウム 平泉と並び立つ「比爪」の実像を探る

主催 ひづめ館懇話会
日時 令和元年 7 月 7 日（日） 9：40～14：50
会場 盛岡南ショッピングセンターNAKS(ナックス)多目的ホール

日程

近年の比爪関連遺跡発掘調査成果 9：50～10：40

鈴木 賢治 氏 紫波町教育委員会
西澤 正晴 氏 (公財) 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター

基調講演「平泉と並び立つ比爪の実像を探る」 10：55～12：00

やなぎはら としあき
柳原 敏昭 氏 東北大学大学院文学研究科教授

比爪研究の現状と課題 13：00～13：40

八重樫 忠郎 氏 平泉町役場・岩手大学平泉文化研究センター
井上 雅孝 氏 滝沢市埋蔵文化財センター

パネルディスカッション 13：50～14：50

パネリスト 柳原氏・鈴木氏・西澤氏・八重樫氏・井上氏
コーディネーター 羽柴直人 氏 紫波町文化財調査委員

シンポジウム以後の日程

15：00～16：20 サミット「全国の樋爪さん大集合 in 紫波」

16：30～17：15 「ひづめ館懇話会 10 周年記念式典」

17：30～ 「祝賀会」

シンポジウム資料目次

基調講演 平泉と並び立つ「比爪」の実像を探る	柳原敏明	2
東北第二の都市比爪館と周辺遺跡	鈴木賢治	11
南日詰大銀Ⅱ遺跡第4次調査について	西澤正晴	21
「比爪」関連遺跡群の評価	八重樫忠郎	37
土器（かわらけ）からみた比爪	井上雅孝	41
パネルディスカッション資料		53